

第3章 まちづくり村民アンケート調査の整理・分析

1 調査の概要

(1) 調査の目的

美浦村のまちづくりの中長期的指針として「第6次美浦村総合計画」を策定するにあたり、村民と共にそのあり方を考えたく、村民の意識・意向を把握することを目的として、まちづくりアンケート調査を実施しました。

(2) 調査の方法

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| ① 調査対象 | 平成24年8月1日現在における村内在住の20歳以上の
2,000人 |
| ② 抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出 |
| ③ 配布・回収方法 | 郵送による配布・回収 |
| ④ 調査期間 | 平成24年8月30日～9月15日
(11月30日着分まで集計) |

(3) 調査結果の比較

「第5次美浦村総合計画」を策定するにあたり、平成14年度に同様の村民意識調査を行っており、その結果と今回の結果を比較することにより、村民の意識の変化から本村に必要な施策を分析し、推進することが必要です。

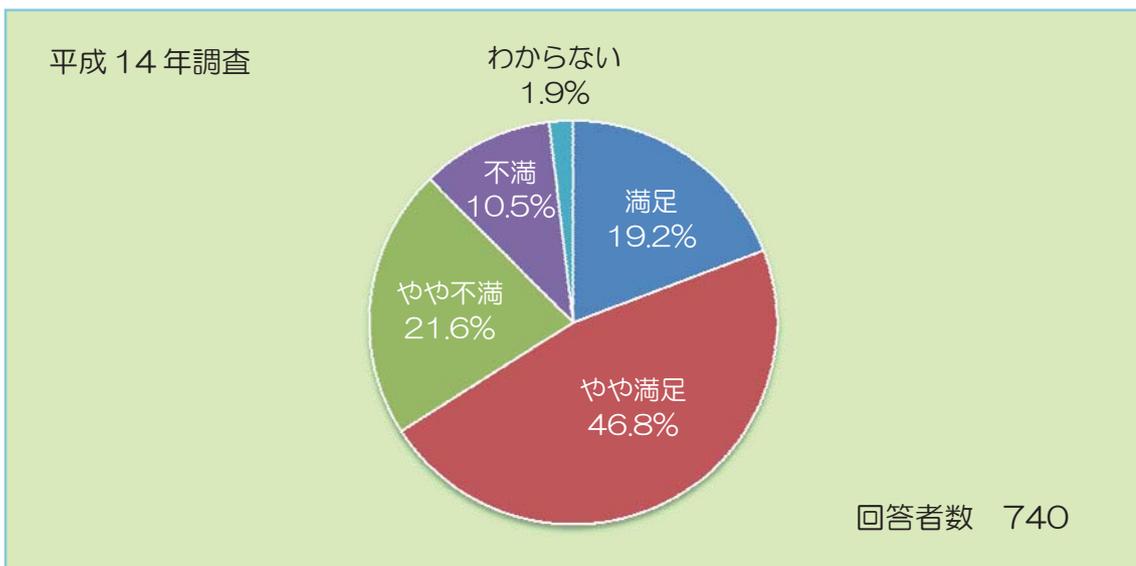
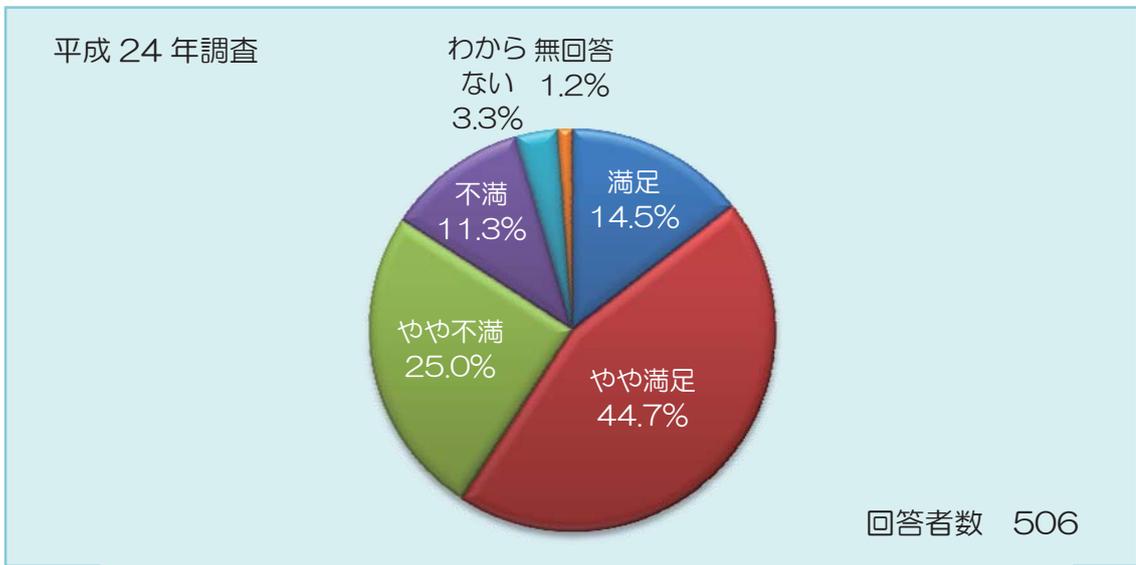
2 調査結果

(1) 住みやすさについて

① 住み心地について

本村の住み心地については、59.2%の方が「満足」「やや満足」、36.3%の方が「やや不満」「不満」と回答しており、どちらかという「住みやすいまち」という評価でした。

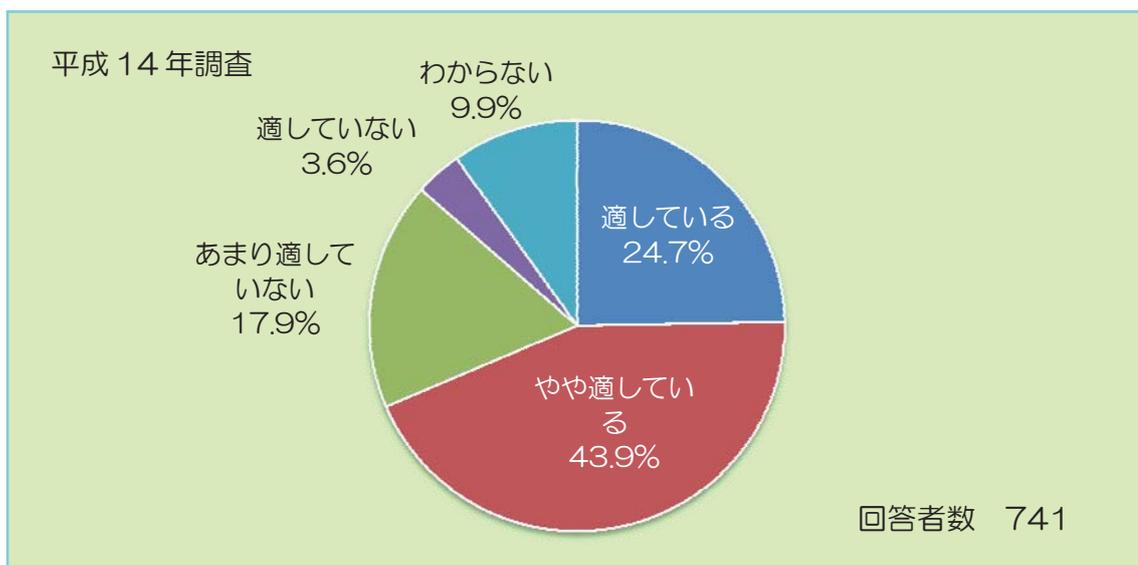
しかし、前回調査時の「あなたの住んでいる地域の住み心地について、どのようにお感じですか」という質問には、平成14年調査のグラフのとおり、66.0%の方が「満足」「やや満足」、32.1%の方が「やや不満」「不満」と回答しており、「満足」「やや満足」が6.8%減少する結果になりました。



② 子育て環境について

子育て環境では、50.6%の方が「適している」「やや適している」、31.1%の方が「あまり適していない」「適していない」と感じており、どちらかというところ「適している」という評価でした。ただし、子育ての最中と思われる30歳代の方は「あまり適していない」「適していない」が「適している」「やや適している」を上回っており、現状に見合う政策の充実が必要と思われます。

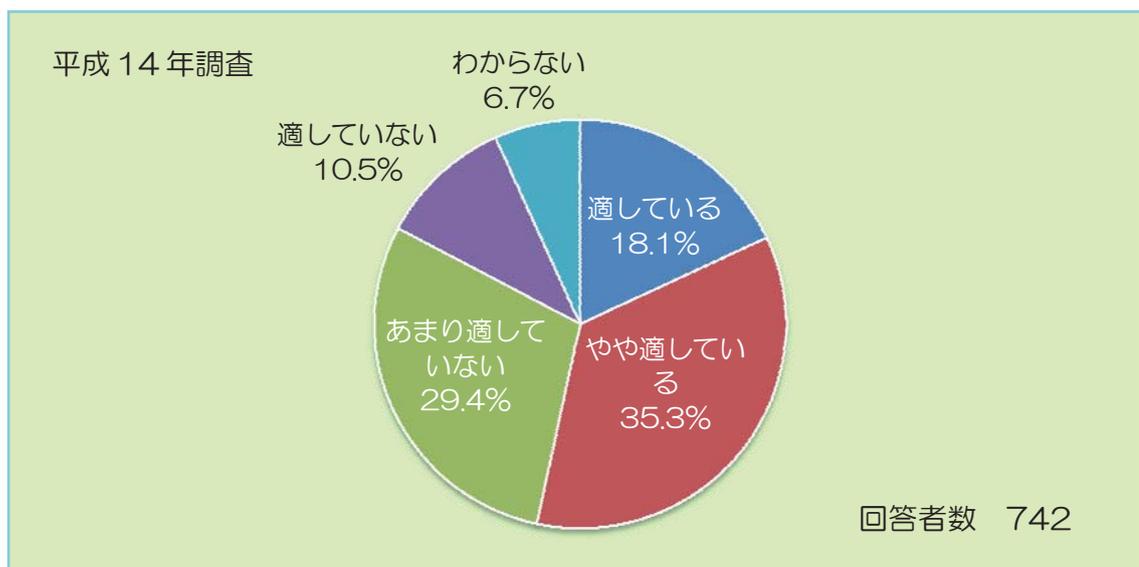
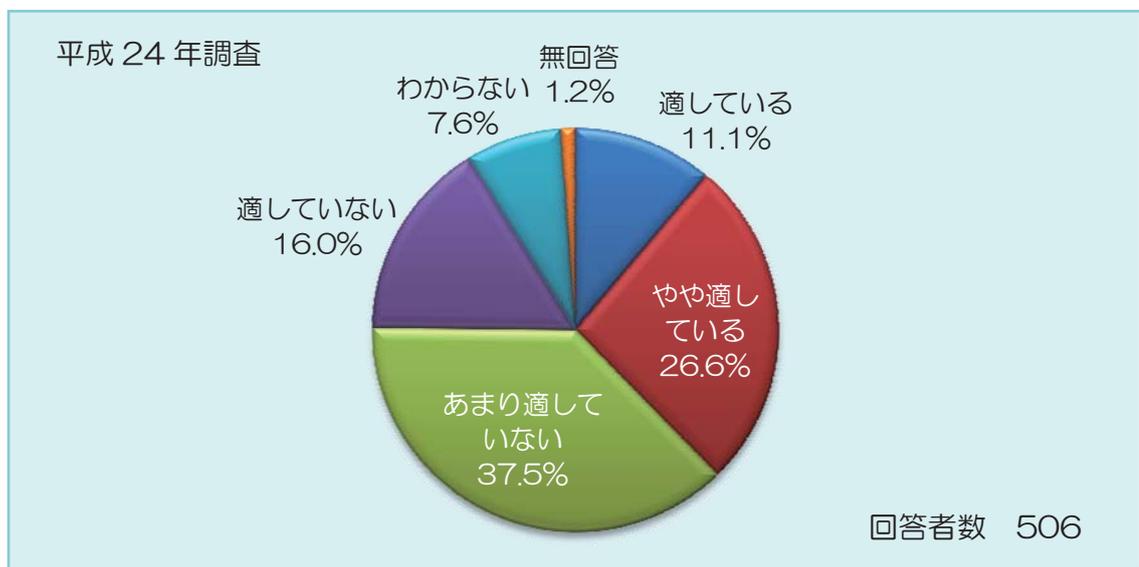
前回調査時の「あなたは、美浦村が子育ての環境に適しているとお考えですか」という質問には、68.6%の方が「適している」「やや適している」、21.5%の方が「あまり適していない」「適していない」と回答しており、「適している」「やや適している」が18.0%と大きく減少する結果になりました。



③ 老後を暮らす環境について

老後を暮らす環境では、37.7%の方が「適している」「やや適している」、53.5%の方が「あまり適していない」「適していない」と感じており、どちらかというところ「適していない」という評価でした。その中でも30歳代・40歳代の方は「適していない」の割合が大きく、老後に不安を抱えていることがうかがえます。

前回調査時の「あなたは、美浦村が老後を暮らす環境に適しているとお考えですか」という質問には、53.4%の方が「適している」「やや適している」、39.9%の方が「あまり適していない」「適していない」と回答しており、平成14年調査では半数以上の方が「適している」「やや適している」と回答していたものが、今回調査では「あまり適していない」「適していない」と感じている方が半数を超え、「適している」「やや適している」と回答した方が15.7%も減少する結果になりました。

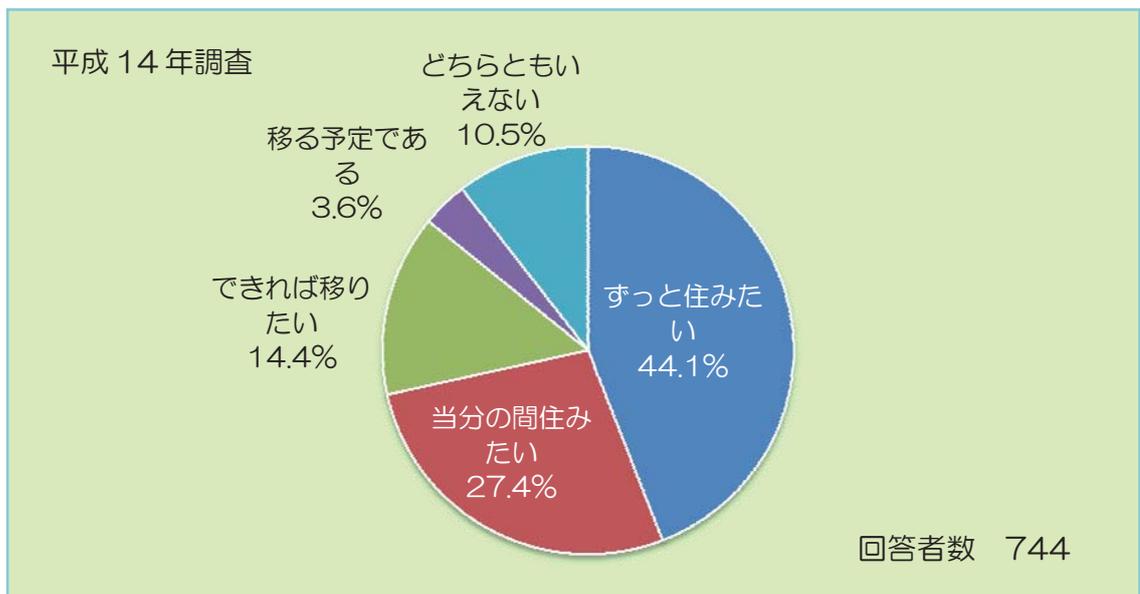
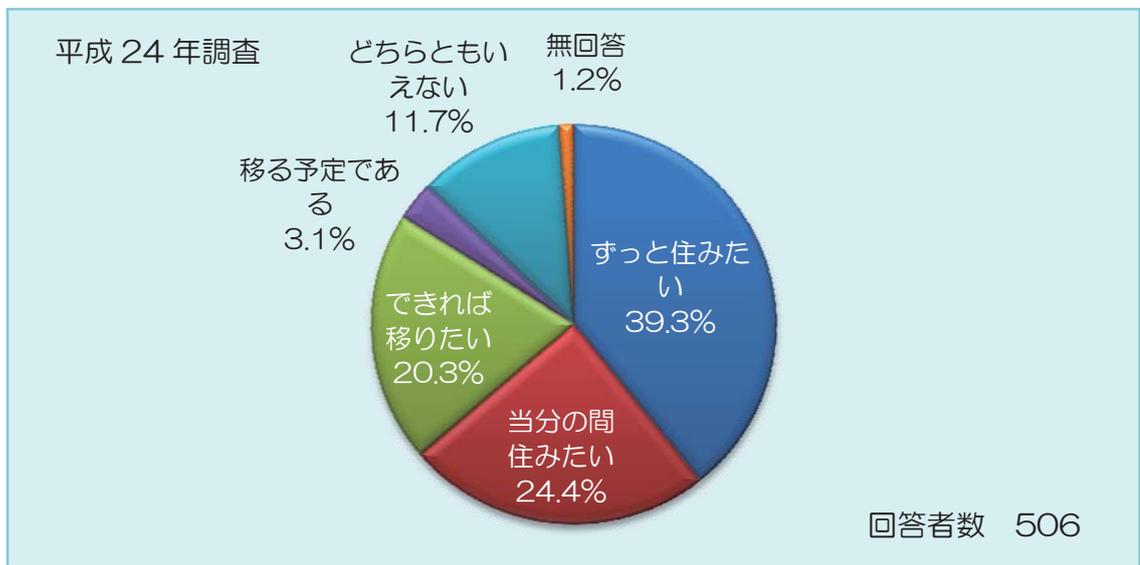


④ 美浦村に住み続けることについて

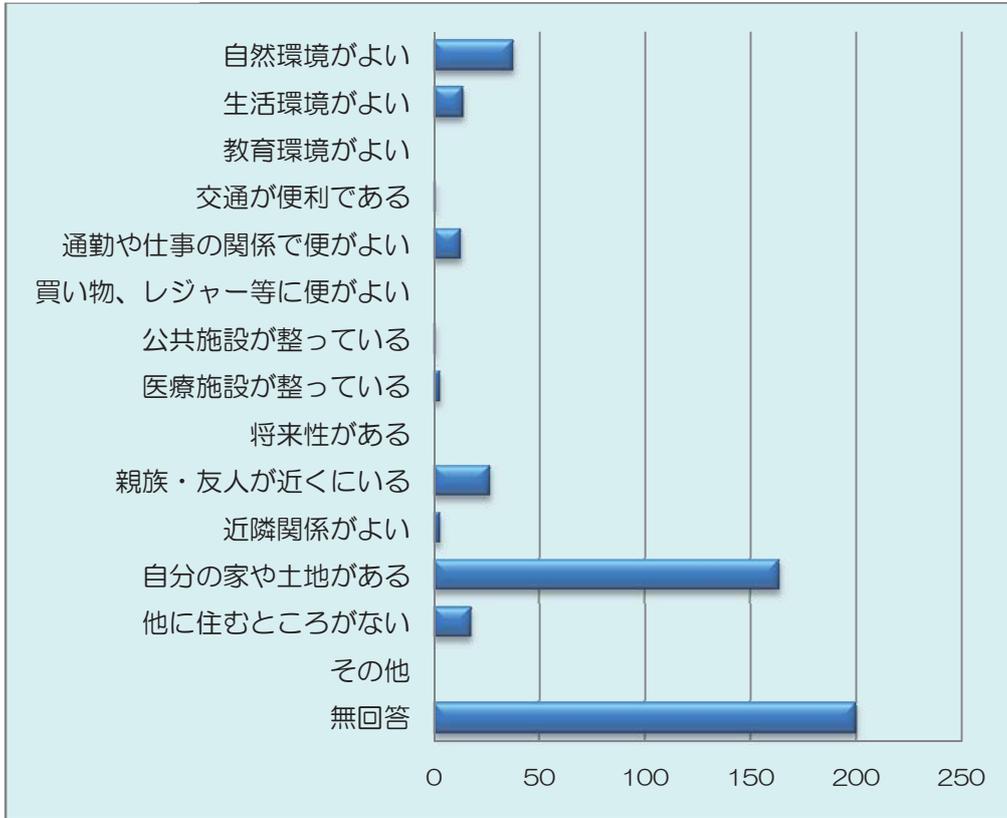
美浦村に住み続けたいかという問には、63.7%の方が「ずっと住みたい」「当分の間住みたい」と感じており、その主な理由は、「自分の家や土地がある」と回答しており、生活基盤がこの土地にあり住みなれているという方が多いという結果になりました。その他では「自然環境がよい」も住み続けたい要素にあげられています。

一方、23.4%の方が本村から「できれば移りたい」「移る予定である」と感じており、その主な理由は、78.3%の方が無回答でしたが、住み続けたくない要素として、「交通が不便である」などがあげられています。

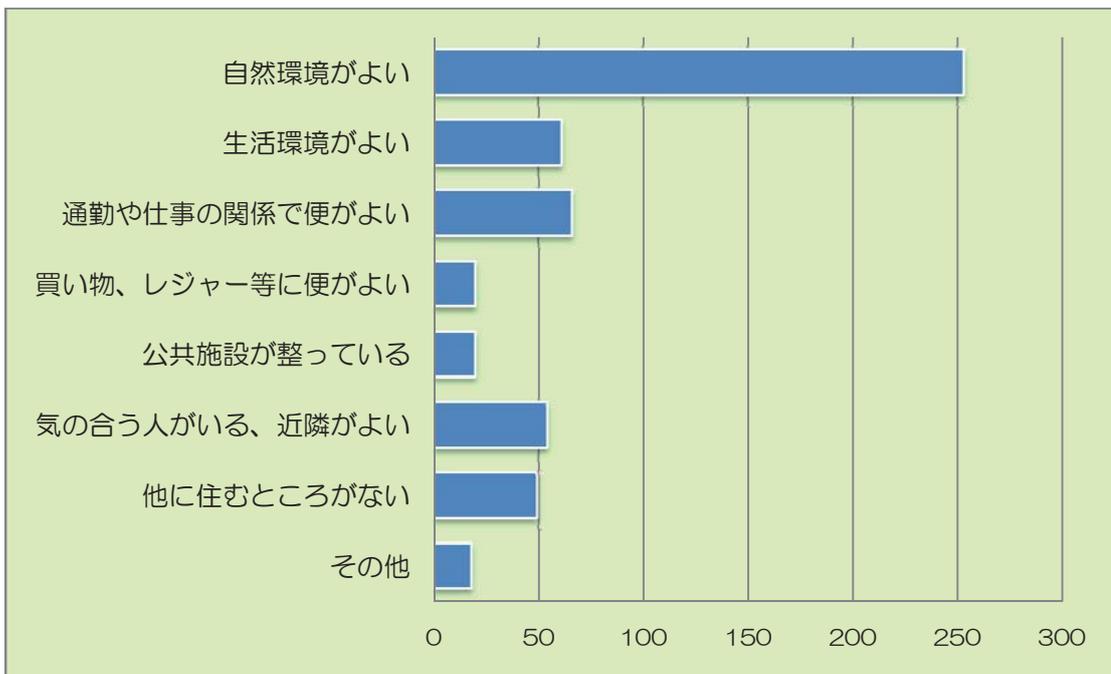
前回調査時の「あなたは、これからも美浦村に住み続けたいとお考えですか」という質問には、71.5%の方が「ずっと住みたい」「当分の間住みたい」、18.0%の方が「できれば移りたい」「移る予定である」と回答しており、「ずっと住みたい」「当分の間住みたい」が7.8%減少する結果になりました。



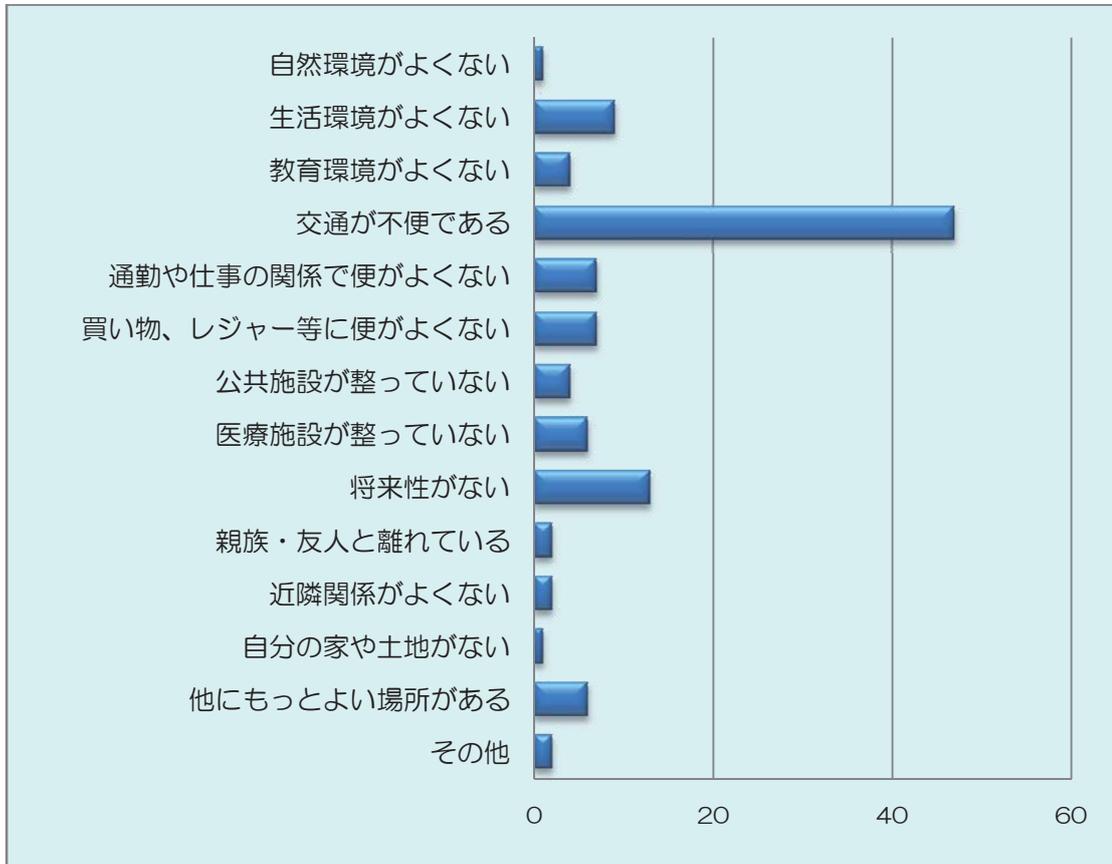
◇美浦村に住みたい最大の理由
平成 24 年調査



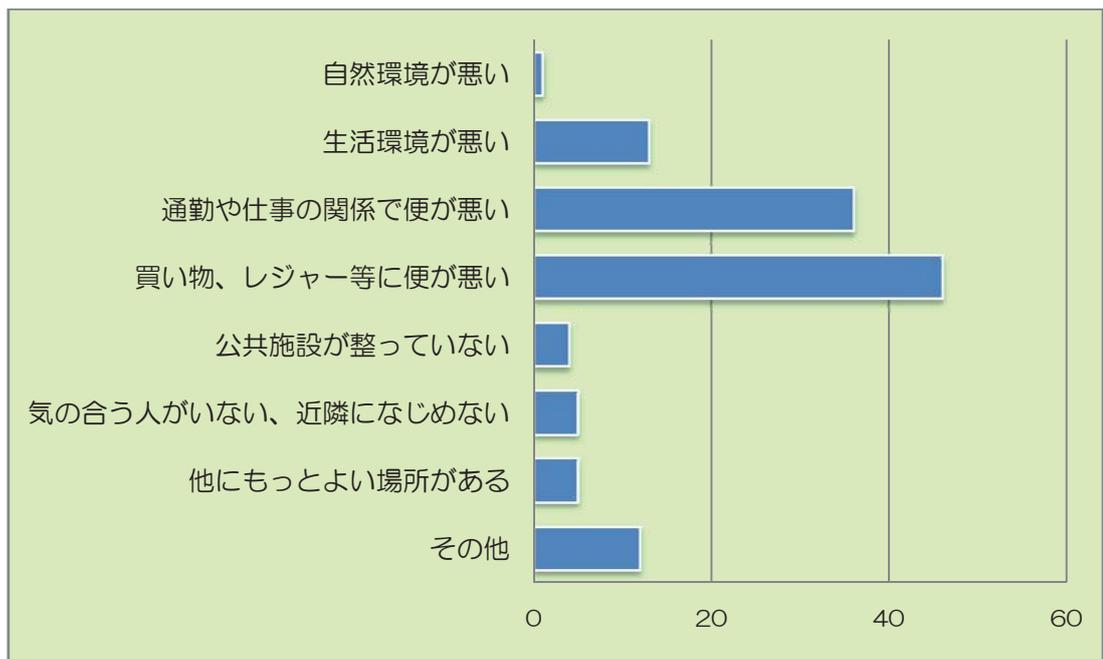
平成 14 年調査



◇美浦村から移りたい最大の理由
平成 24 年調査



平成 14 年調査



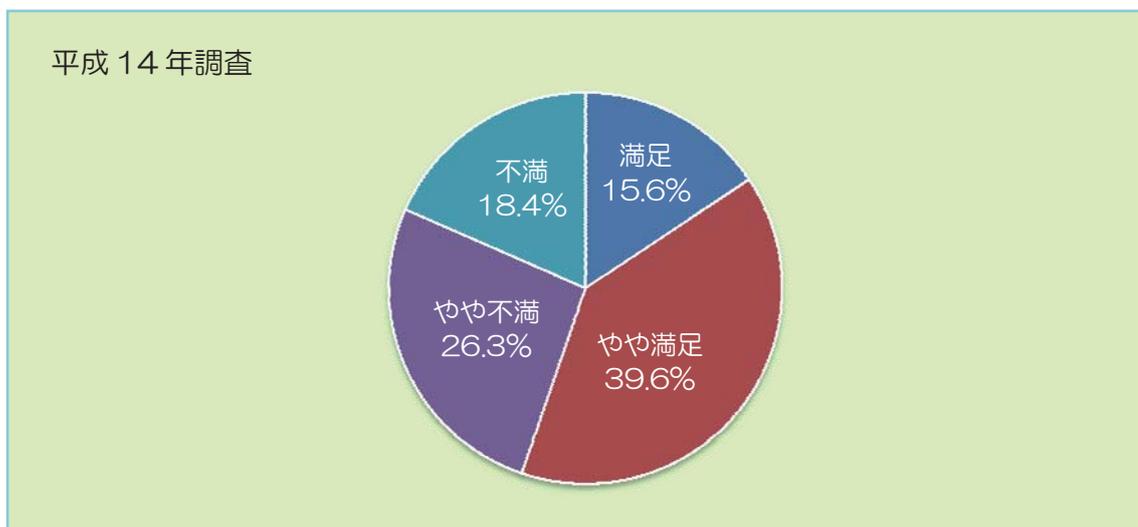
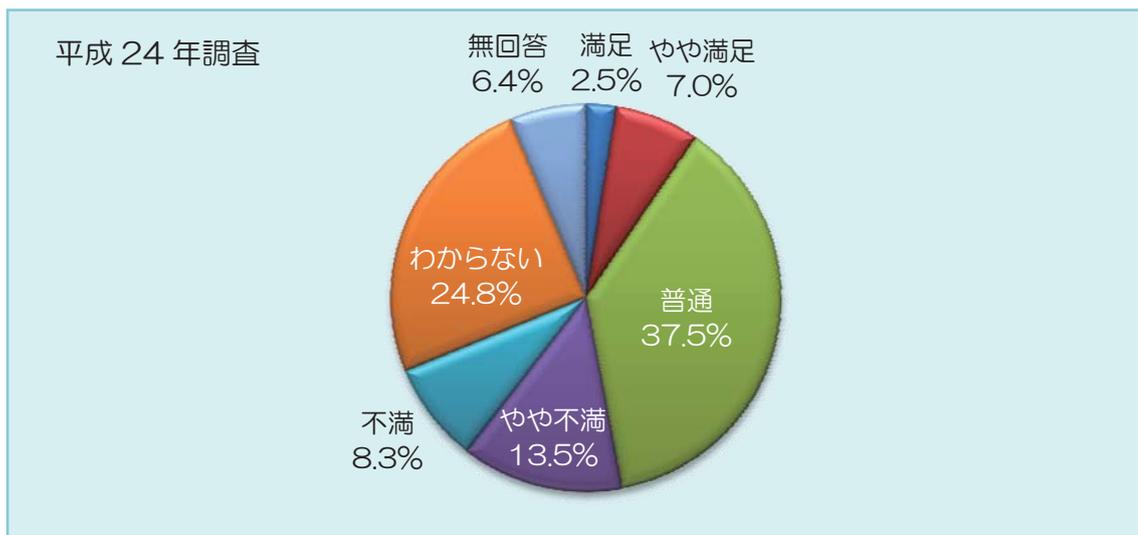
(2) 美浦村の施策に関する評価について

美浦村の現状や行政サービスなどの個別評価は、全体平均で「満足」「やや満足」が9.5%、「ふつう」が37.5%、「やや不満」「不満」が21.8%となっています。

個別評価で、「満足」「やや満足」「ふつう」より「やや不満」「不満」の割合が上回ったのは、「公共交通の充実」44.9%、「不法投棄の防止」44.6%、「観光事業の推進」39.9%、「企業誘致の推進」36.9%となっています。その他に「やや不満」「不満」の割合が30%を超えたのは、「いきいきと生活し、働ける環境の整備」35.2%、「原発事故による放射能対策」33.8%、「子どもの遊び場の充実」33.4%、「生活道路の整備」33.0%、「交通安全施設の整備」32.8%、「防犯体制の充実」30.3%などがあります。

前回調査時の「あなたは、美浦村の現状や行政サービスなどについてどのようにお感じですか」という質問には、55.2%の方が「満足」「やや満足」と回答しており、今回の「満足」「やや満足」に「普通」を加えても、47.0%であり、8.2%減少する結果になりました。

全項目の平均



(3) 今後重要と思われるまちづくりについて

今後 10 年間、もっとも重点的に取り組むべき課題は、60 歳代、70 歳代の方が「健康・医療対策の充実」、「福祉政策の充実」を選び、20 歳代、30 歳代、40 歳代の方が「教育の充実」を選んでいきます。

都市基盤や居住環境では、「生活道路・街灯の整備」、「商業地域の拡大」、「バス等の交通手段の整備」、「自然環境の保全」、「救急・消防体制の強化」が望まれています。

福祉や少子化対策では、「救急医療体制の充実」、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」があげられています。

産業の振興については、「優良企業の誘致」、「商店街の整備・活性化」が期待されています。また、農業経営の方向性については、「農地は所有したまま、信頼できる農家に任せたい」が 51.8%を占める結果となりました。

教育では、「学校教育の充実」「学校・家庭・地域の連携の強化」が、行財政の改革では、「行政事務の簡素化・効率化」、「財政の健全化」が重要とされています。

住民参加の方策としては「住民意識調査の数多い実施」「村長や議員との積極的な懇談や対話の機会の拡大」が求められているほか、多くの方がボランティア活動などを通してまちづくり活動へ参加してみたいと考えており、村の活性化に関する村民の関心・期待の高さを感じ取れます。

今後、これらの評価を伸ばすために、課題とされたこれらのことを中心に方策を組み立てることが求められています。

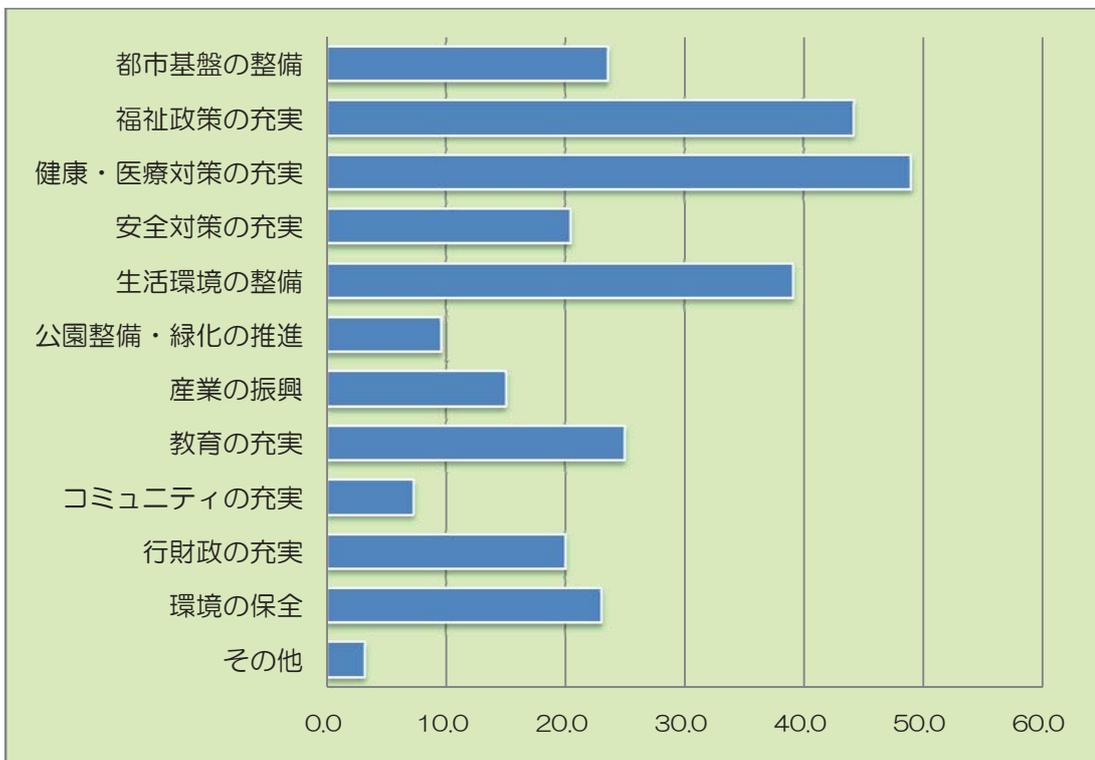
前回調査時の「あなたは、美浦村で今後 10 年間、もっとも重点的に取り組むべき課題は何であると考えますか」という質問には、「健康・医療対策の充実」、「福祉政策の充実」、「生活環境の整備」の順に多くの方が回答しており、今回の調査と同様の結果でしたが、今回の調査では、前回に比べ「教育の充実」が 4.7%、「産業の振興」が 9.4%増加する結果となりました。

また、「どのようなまちづくりのための方策の充実が望ましいですか」という質問には、前回調査時も今回も「住民意向調査の実施」、「村長や議員との直接的な懇談や対話」、「住民同士の話し合いの機会の確保」が多く回答される結果になりました。

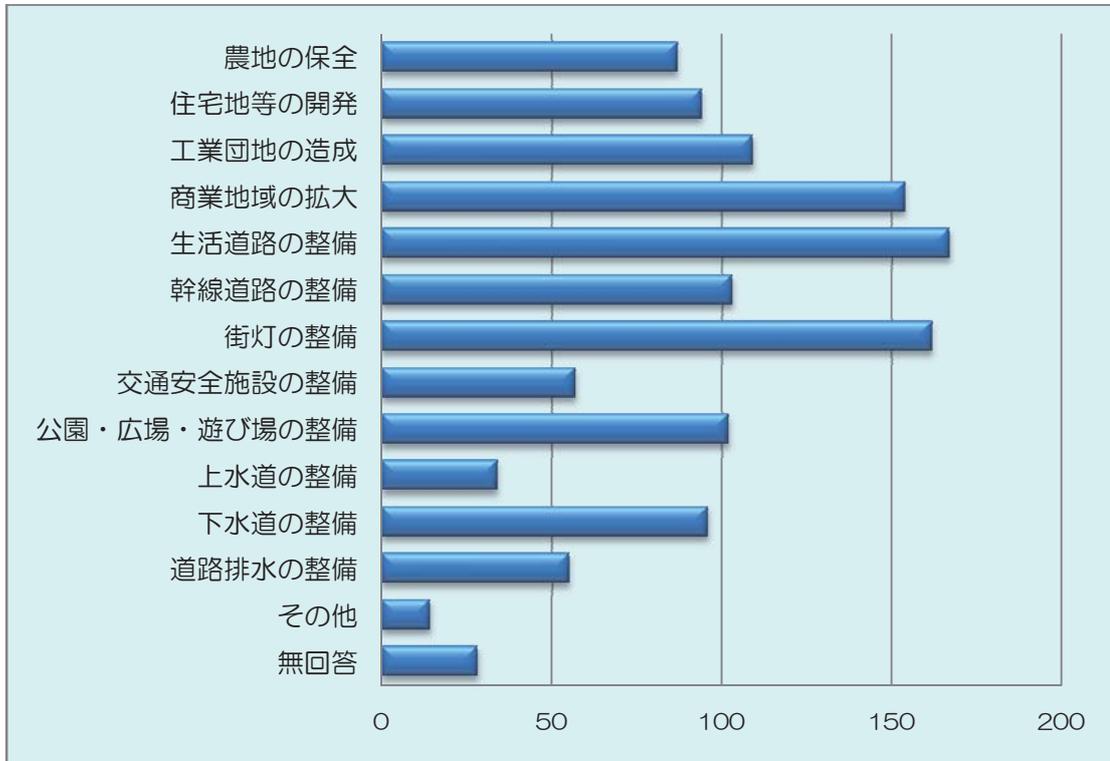
◇今後 10 年間で、もっとも重点的に取り組むべき課題
平成 24 年調査



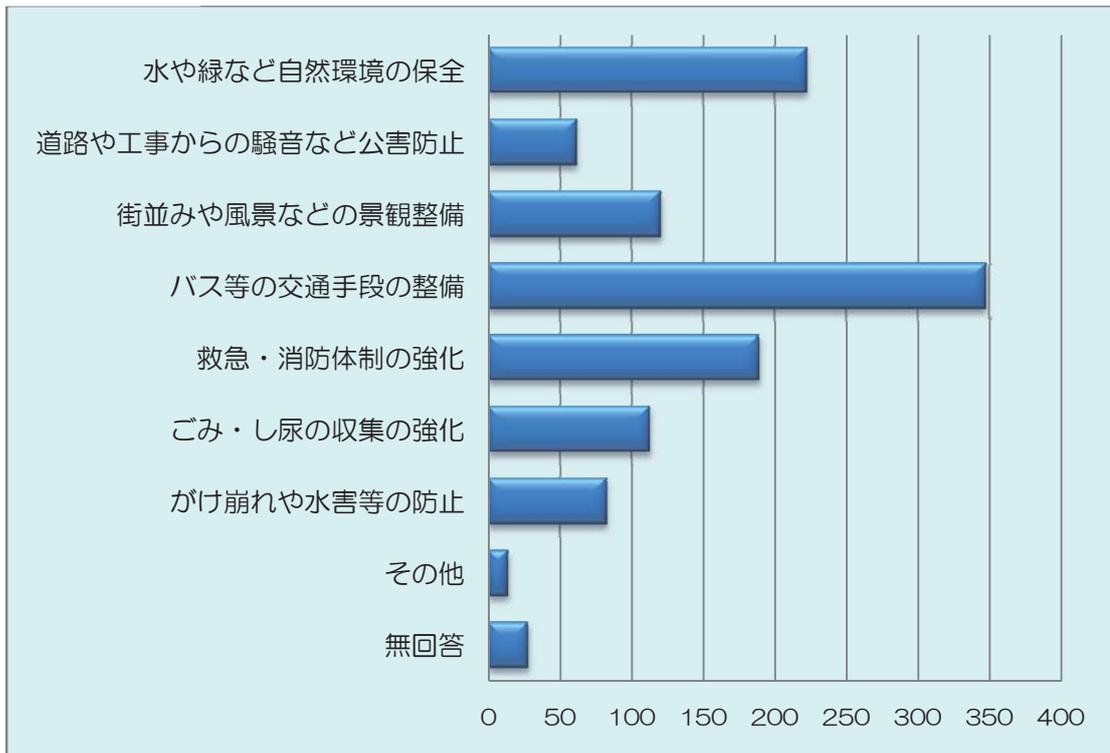
平成 14 年調査



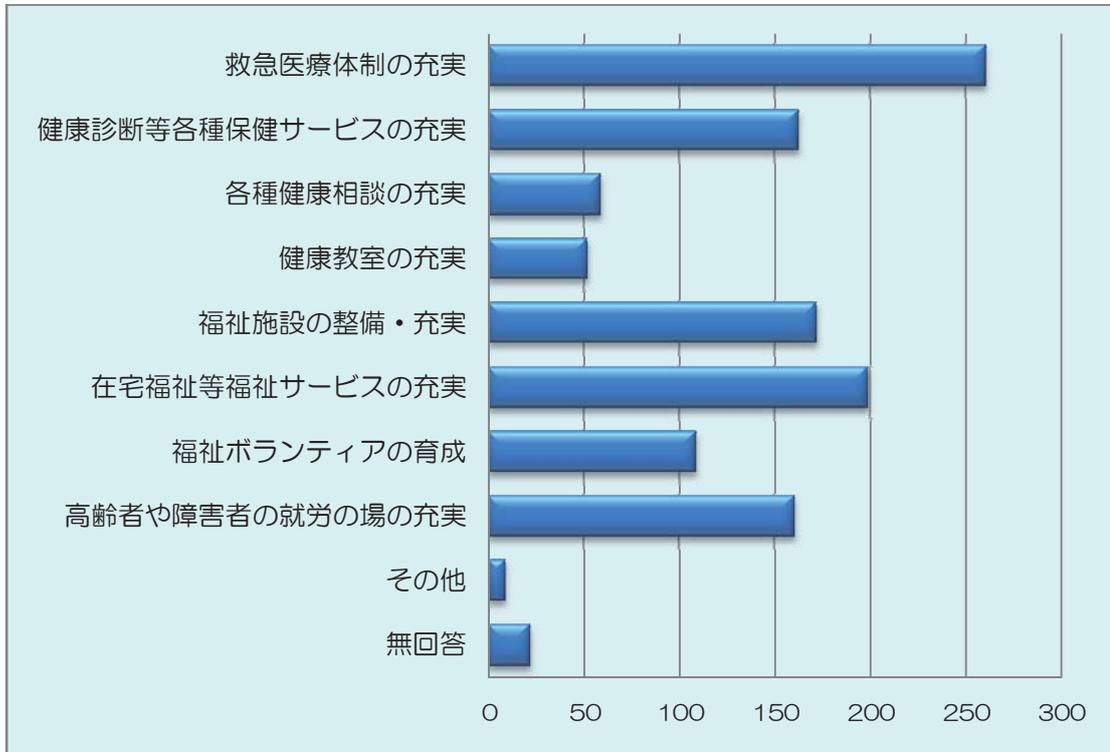
①都市基盤の整備で重要と思われること
平成24年調査



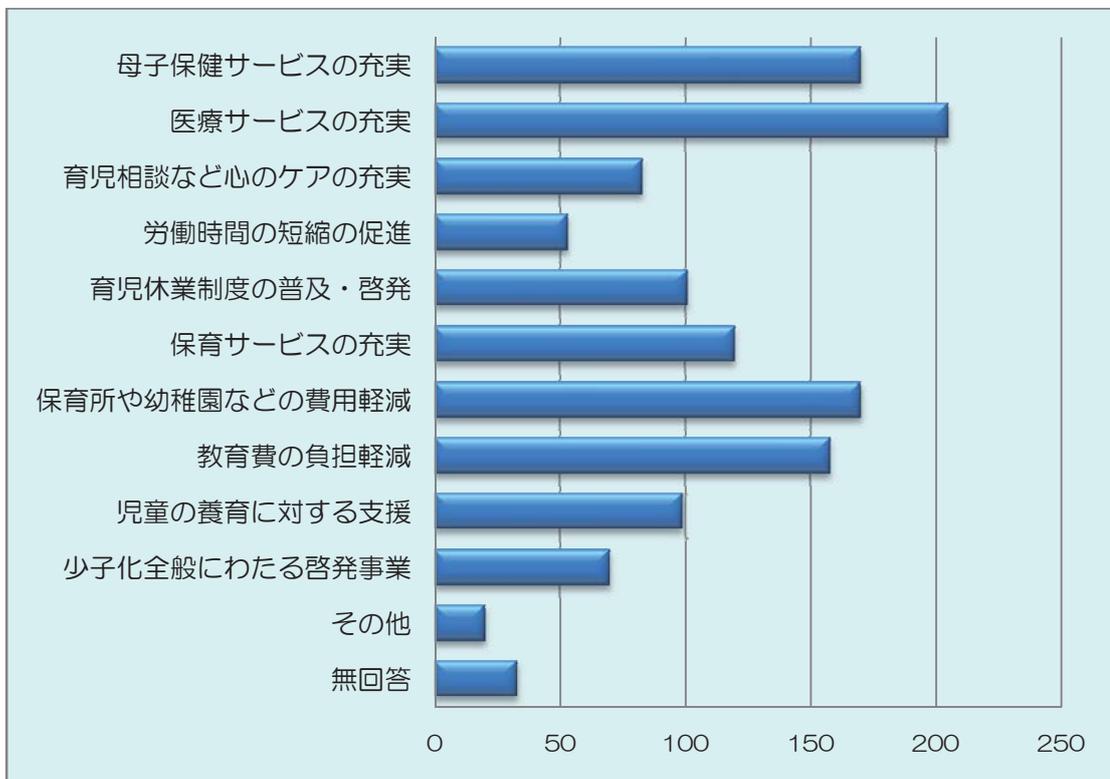
②居住環境の整備で重要と思われること
平成24年調査



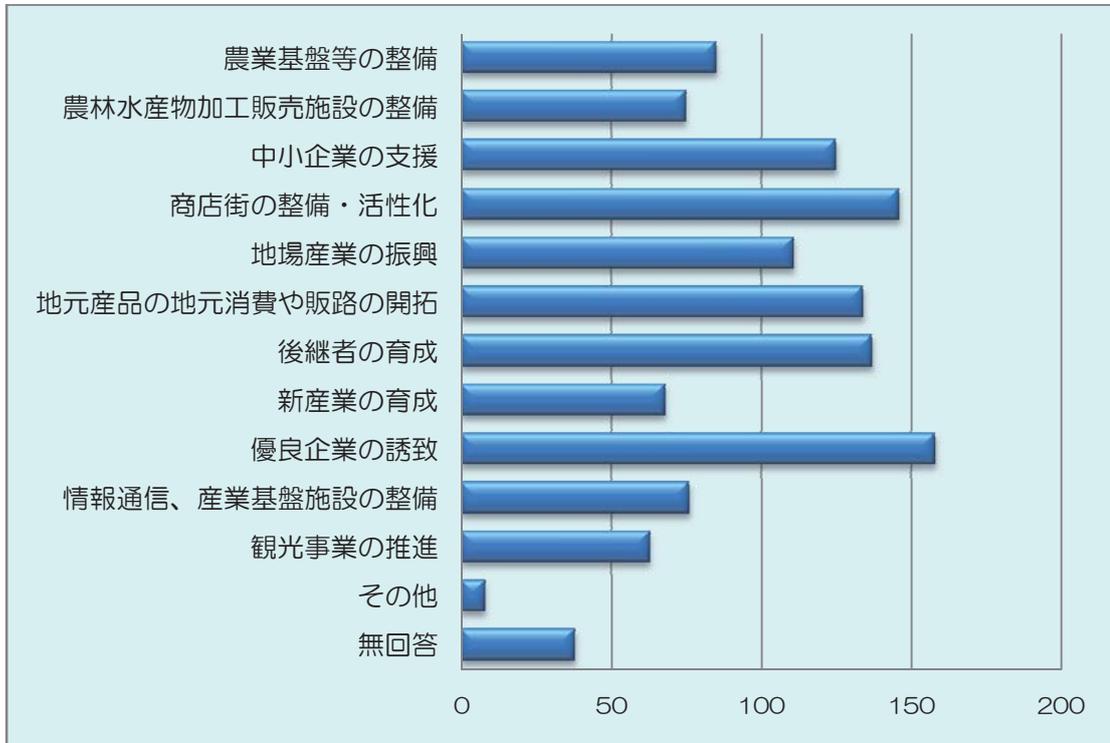
③健康づくり・福祉で重要と思われること 平成24年調査



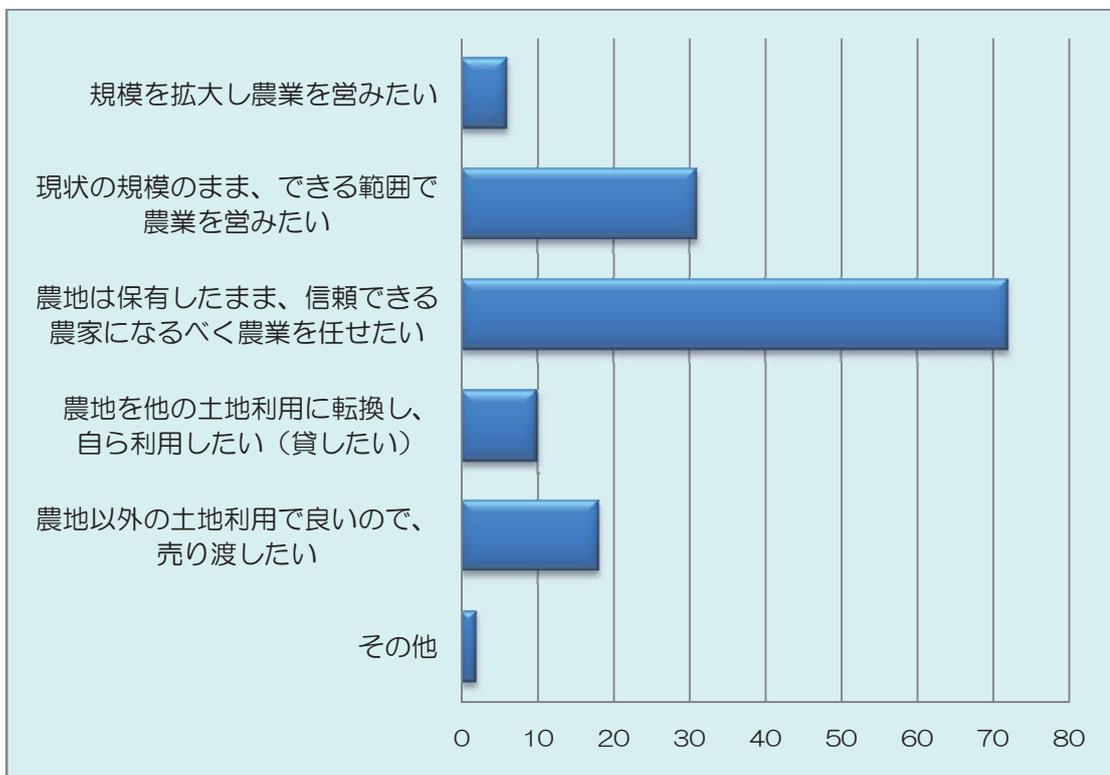
④少子化対策で重要と思われること 平成24年調査



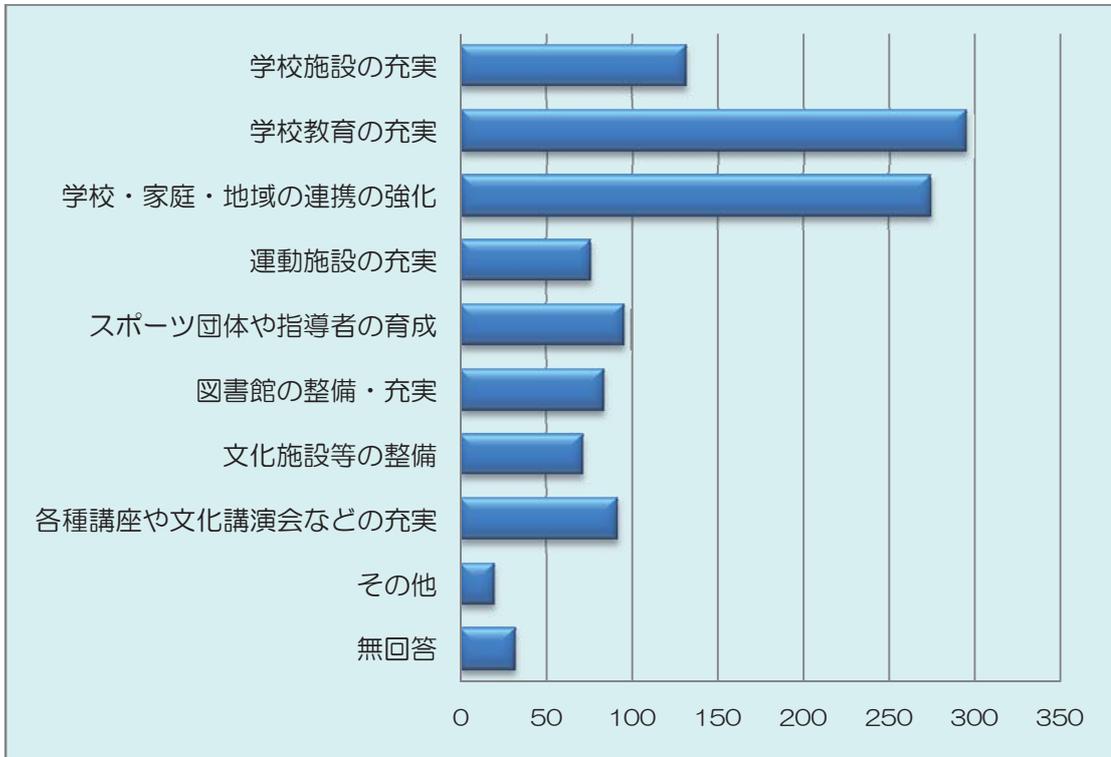
⑤産業振興で重要と思われること
平成24年調査



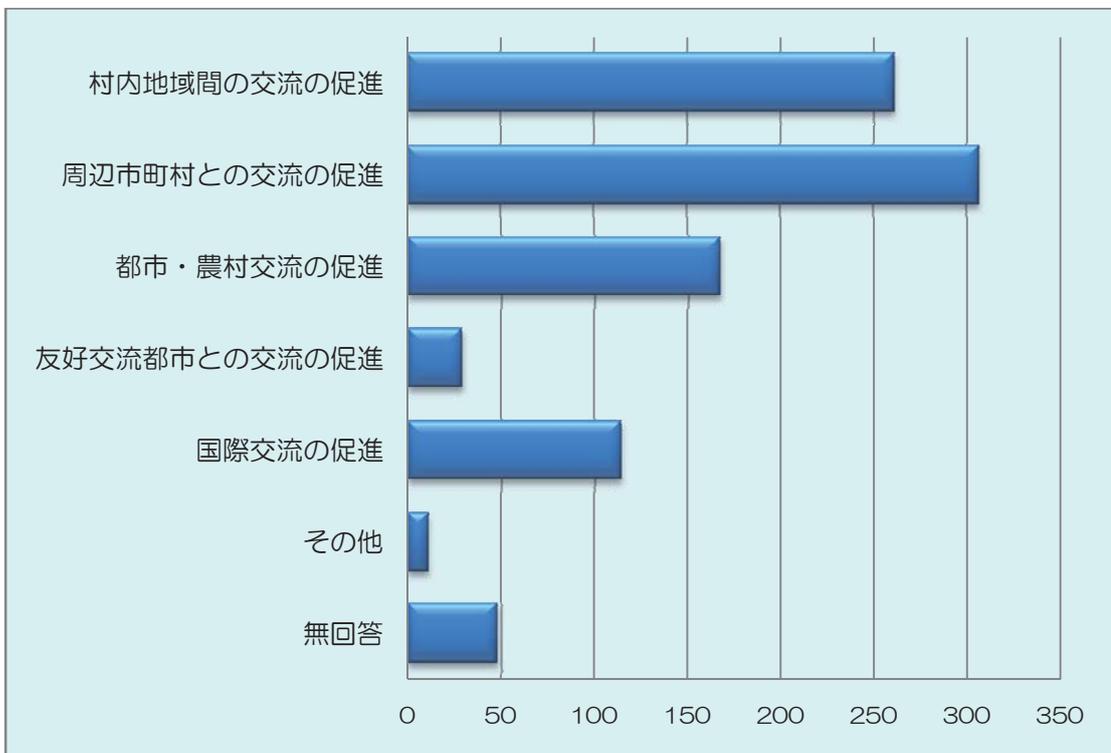
⑥農業経営の方向についてどのようにお考えですか
平成24年調査



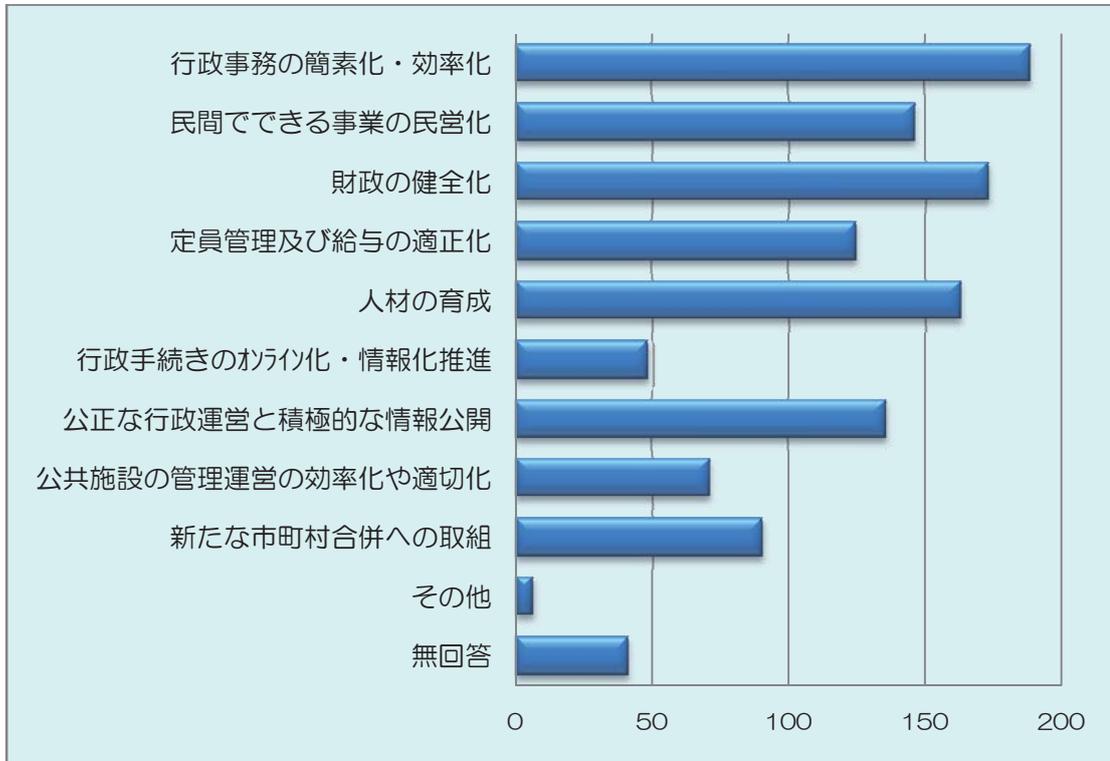
⑦教育や文化で重要と思われること
平成24年調査



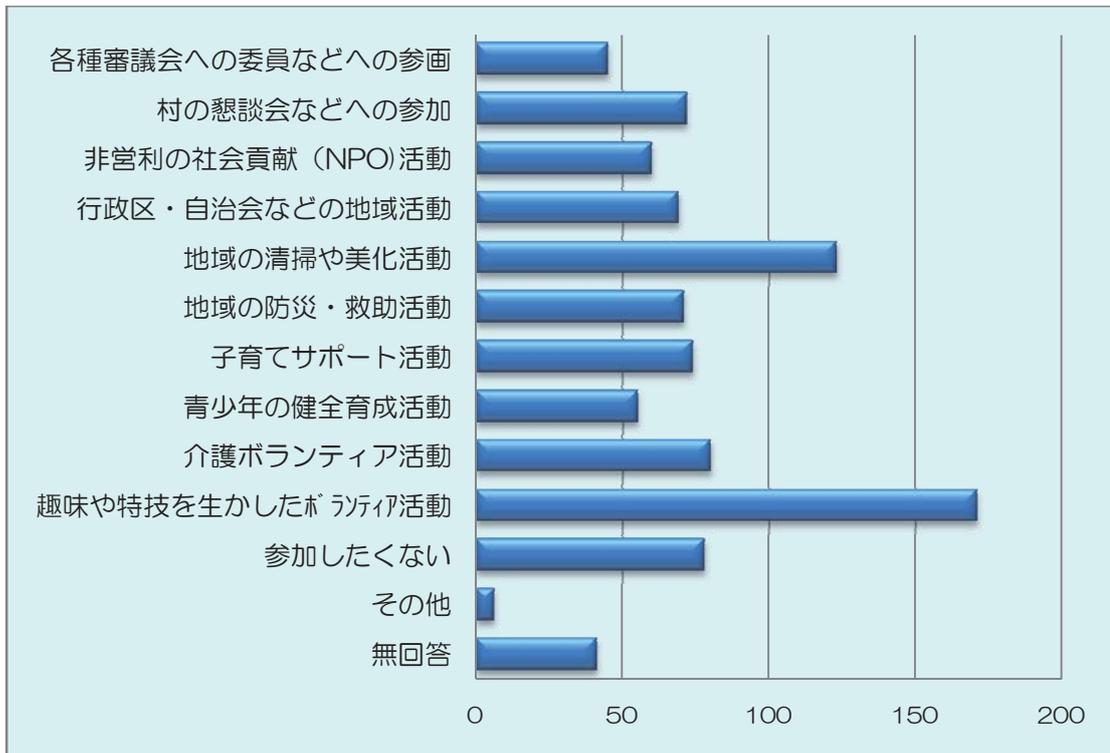
⑧各種交流事業で重要と思われること
平成24年調査



⑨行財政改革で重要と思われること
平成24年調査



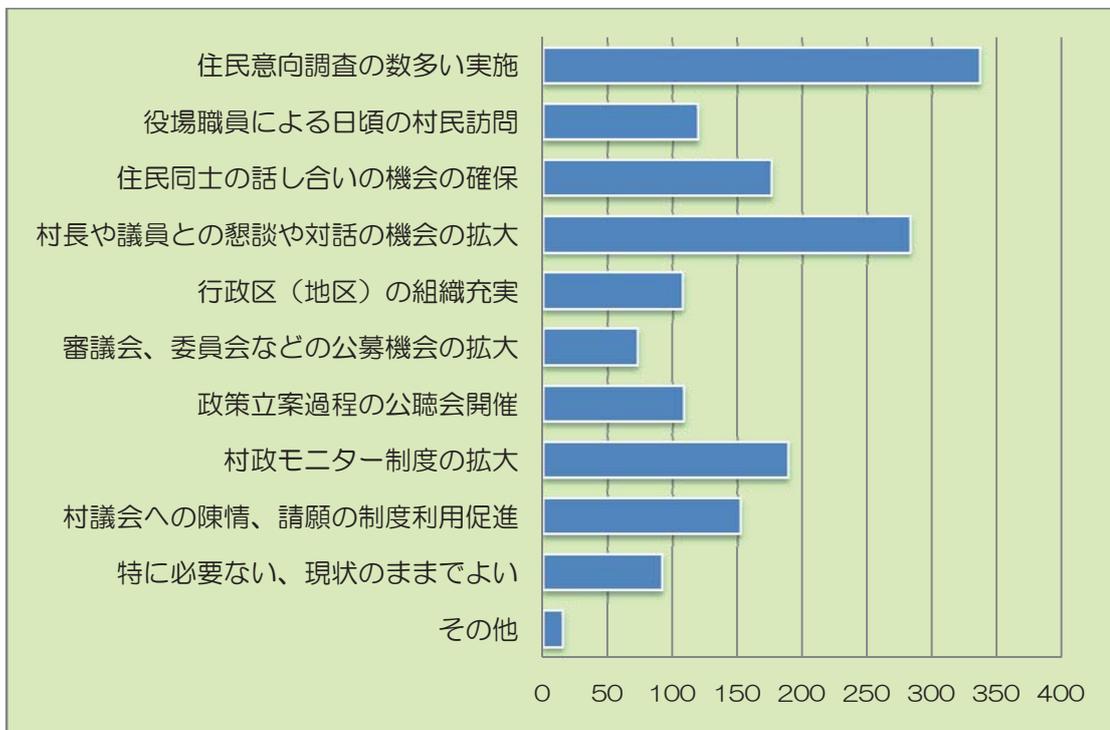
⑩どのようなまちづくりの活動に参加したいですか
平成24年調査



⑪どのようなまちづくりのための方策の充実が望ましいですか
平成 24 年調査



平成 14 年調査



3 第5次総合計画の進捗

(1) 霞ヶ浦の美しい村づくり

第5次総合計画の「霞ヶ浦の美しい村づくり」に掲げられた事業で、ほぼ事業の目的が達成されたもの

- ・ 公共下水道事業の計画的整備（木原地区、受領地区の一部、郷中地区の一部、興津地区）
- ・ 農業集落排水事業の計画的整備（舟子地区）
- ・ 「動く博物館」案内板や駐車場の整備

第5次総合計画の「霞ヶ浦の美しい村づくり」に掲げられた事業で、事業が開始され、継続して推進している主な事業

- ・ 環境に配慮した公用車（ハイブリッド車）の導入
- ・ 下草刈りの推進（身近なみどり整備推進事業）
- ・ 湖岸の親水拠点を結ぶ湖岸サイクリングロードの整備
- ・ 霞ヶ浦活用推進（茨城県霞ヶ浦創造事業との連動）
- ・ 公共下水道認可区域の拡大（土屋・南原・美駒・大谷・宮地・余郷・布佐地区）

第5次総合計画の「霞ヶ浦の美しい村づくり」に掲げられた事業で、事業の中止や見直しが必要なもの

- ・ 景観条例の制定、景観計画の策定
- ・ 生け垣整備助成金の検討
- ・ 景観シンポジウムの開催、美浦八景の募集、景観読本の作成

(2) 子どもの健やかな成長を支える村づくり

第5次総合計画の「子どもの健やかな成長を支える村づくり」に掲げられた事業で、ほぼ事業の目的が達成されたもの

- ・ 保育所の保育時間の延長
- ・ 保育所へのクーラーの設置
- ・ 幼稚園3年保育の検討
- ・ 幼稚園延長保育の検討
- ・ 全教育施設でのインターネット接続環境の整備

第5次総合計画の「子どもの健やかな成長を支える村づくり」に掲げられた事業で、事業が開始され、継続して推進している主な事業

- ・ 先生が役割分担をして、子どもたちの個別の課題に応じきめ細やかな指導を行うためTT講師を配置
- ・ 普通登校ができるよう指導していくため適応教室を配置

第5次総合計画策定後に事業が計画され、ほぼ事業の目的が達成されたもの

- ・ 児童館への指定管理者制度の導入
- ・ 小中学校の普通教室への空調設備の整備
- ・ 小学校で児童タブレットを用いて授業を行ってきた児童に、中学校へ進学後も継続してICT教育環境を提供

(3) 長く生きがいを持って暮らせる村づくり

第5次総合計画の「長く生きがいを持って暮らせる村づくり」に掲げられた事業で、ほぼ事業の目的が達成されたもの

- ・美浦村健康増進計画の策定（目標の具体化）

第5次総合計画の「長く生きがいを持って暮らせる村づくり」に掲げられた事業で、事業が開始され、継続して推進している主な事業

- ・中央公民館図書室の蔵書充実と利用の便の充実（図書室電算システム再構築）
- ・人間ドック補助の推進
- ・多くの村民が気軽に取り組める健康づくり活動として、ウォーキング、ニュースポーツの普及を推進
- ・総合健康相談の充実、健康情報管理の検討

第5次総合計画策定後に事業が計画され、ほぼ事業の目的が達成されたもの

- ・生涯学習推進計画を策定し、一般行政、教育行政が行う教育的事業の総合調整

(4) 支え合う村づくり

第5次総合計画の「支え合う村づくり」に掲げられた事業で、ほぼ事業の目的が達成されたもの

- ・全国市町村ホースサミット

第5次総合計画の「支え合う村づくり」に掲げられた事業で、事業が開始され、継続して推進している主な事業

- ・コミュニティ活動に対する助成金の運用
- ・障害者の社会参加促進、障害者の人権尊重（地域活動支援センター（ホープ作業所）の増築）
- ・特定健康診査・特定保健指導
- ・歩道の新設・改良
- ・高齢者社会に対応する交通環境の整備を図るため、各種交通手段（コミュニティバス・タクシー等）の検討・整備
- ・消防団員の教育・訓練の充実、自主防災組織 10分団 24部 300人
- ・公共施設における耐震性能の強化

第5次総合計画策定後に事業が計画され、ほぼ事業の目的が達成されたもの

- ・子ども・子育て支援事業計画を策定

第5次総合計画の「支え合う村づくり」に掲げられた事業で、事業の中止や見直しが必要なもの

- ・地域の環境保全活動を通じた交流の促進
- ・通学児童・生徒の歩行者優先道路の通学路指定
- ・地域防災行政無線の整備拡大の検討

(5) 地域経済と消費者の満足を支える地域産業の形成

第5次総合計画の「地域経済と消費者の満足を支える地域産業の形成」に掲げられた事業で、事業が開始され、継続して推進している主な事業

- ・農産物直売所を中心に、村内の物産紹介・販売や消費者活動、広域誘客の拠点となる物産センターの設立・整備の検討
- ・学校教育、学校給食における地域物産の普及
- ・霞ヶ浦自転車道の早期具体化の働きかけ
- ・情報収集・提供活動を強化し、環境保全に資する製品やサービス、技術を提供する産業（環境ビジネス）をはじめとする企業誘致の推進

第5次総合計画の「地域経済と消費者の満足を支える地域産業の形成」に掲げられた事業で、事業の中止や見直しが必要なもの

- ・マッシュルーム、いちじくの契約栽培、通信販売など
- ・国立科学博物館霞ヶ浦資料センターの誘致を推進

(6) みんなが一体となって進める村づくり

第5次総合計画の「みんなが一体となって進める村づくり」に掲げられた事業で、事業が開始され、継続して推進している主な事業

- ・ 村ホームページの充実 村民の意見を求める機能の充実による双方向伝達手段としての活用
- ・ 電子自治体の整備による行政サービスの充実
- ・ 行政計画策定の案段階における一般意見の公募（パブリックコメント）の実施
- ・ LGWAN（総合行政ネットワーク）接続などによる広域的な情報の共有化
- ・ 人事評価制度の導入
- ・ バランスシート等の分析に基づく財政計画の管理
- ・ 民間委託の活用、民間資金等の活用事業（PFI）導入の検討

第5次総合計画策定後に事業が計画され、ほぼ事業の目的が達成されたもの

- ・ 大規模な災害・事故時においても村の重要業務を実施・継続できるよう、ICT部門の業務継続計画（BCP）の策定
- ・ 中長期的な展望に立った本村の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの方向性を示す、美浦村男女共同参画計画の策定
- ・ タブレット端末を利活用することによる議会資料等のペーパーレス化推進